とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	5月7日
クラス名（年齢）	ひよこ組（0歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

初めての綿毛

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・ベビーカーに乗り第二園庭へ向かっているときに、たんぽぽの綿毛を見つけ不思議そうに見ていた子どもたちの姿が見られ、どんな感触なのかを知ることができれば良いと感じた

2、活動スケジュール

・たんぽぽの綿毛に触れてどのような感触かを知ったり、保育者が綿毛を飛ばす様子を見て、子どもたちも手から離して飛ばしてみる

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

たんぽぽの綿毛

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・第二園庭付近に生えているたんぽぽの綿毛に触ることができるよう子どもに渡したり、口に入れるなどないよう安全に配慮しながら進めていく。保育者が綿毛を拭いたり、風で飛ぶなどして飛んでいく綿毛の様子を見ることができるようにする。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・ベビーカーに乗り第二園庭へ向かう途中にたんぽぽの綿毛を見つけた。たんぽぽの綿毛を初めて見る子どももいるので、手を伸ばしたりして興味のある様子が見られた。 ・たんぽぽの綿毛に興味を示し手を伸ばした子どもに綿毛を渡してみると、綿毛の部分を手で握り、綿毛が軸から抜けて飛んでいく様子を見ていた。 ・保育者や友だちが触った姿を見て触り始める子どももいて、危ないの物ではないか、触っても大丈夫なのかなど子どもたちなりにしっかり考えている様子が見られた。 ・保育者が綿毛を息で拭いて飛ばすと、保育者の顔を見たり、たんぽぽの茎を見て飛んでいく綿毛の様子はまだあまり分からないようだった。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・たんぽぽの綿毛という春の自然に触れ、初めて見たり、触ったりする子どもが多かったと思うが、最初は触っても良いのだろうか。と少し不安そうな姿も見られた。保育者が触ることを通して子どもたちも安心して触ることができていた。自然にはそういった初めて見るもの、触れるものがこれからも多くあると思うので、自然と触れ合いながら過ごせるように、保育者がどう触れるのかを伝えながら過ごしていきたい。